

第4学年2組 算数科学習指導案

場所 4年2組教室

1 単元 変わり方 (本時4/6)

2 本時の目標

- (1) 変わり方を表にかいて調べ、きまりを考えたり説明したりしようとしている。(思考・判断・表現)
 (2) 表から見つけた変わり方のきまりを使って問題を解く良さに気付くことができる。
 (主体的に学習に取り組む態度)

3 課題を追究するための手だて

- 表からきまりを見つけるためにグループで対話し、自分の考えを確認する場を設定する。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (8)	1 図を見て気付いたことを発表する。 ・テーブルが増えると人も増えている。 2 問題文を聞き、テーブルの数と座れる人の数の関係の調べ方を考える。 ・表にかいて調べると良いと思う。 3 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りをする 図を黒板に提示し、問題場面の確認をする。 「テーブルの数と座れる人の数の関係を調べます。どのような方法で調べますか」と発問する。 学習課題を板書する。
課題 (2)	テーブルの数とすわれる人の数の関係を、表にかいて考えよう	
展開 (30)	4 問題文と図をもとに表をかき、変わり方のきまりを見つける。 ・最初は4人座っていて、机が1こ増えると、座れる人の数は2人増える。 5 問④のテーブルの数が8 この時の人数を求めろ。 ・テーブル1 この時は4人。2 この時から2人ずつ増える。 $18-1=7$ $2\times 7=14$ $14+4=18$ 。 ・表をつけ足すと、テーブル8 この時に座れる人の数は18人だと分かった。 6 問⑤の24人座するにはテーブルが何こいるかを求めろ。 ・ $(24-4)\div 2=10$ $10+1=11$ ・表をつけ足すと、11こいると分かった。 7 問2を解く。 ・表をつけ足すと、26人と分かった。 ・ $8-1=7$ $3\times 7=21$ $21+5=26$	<ul style="list-style-type: none"> 表の書き方の確認をする 「表をかいて見つけたことや気づいたことを発表しましょう」と発問する。 表を黒板に提示し、児童の意見を書き込む。 図に児童の意見を書き込む。 考え方には、表や式を使ってよいことを伝える 自分の考えをもつことができるよう、考えに行き詰まり手の止まっている児童には、<u>チーム内で関わりを持つことができるよう支援する。</u> 学習のまとめを板書する。
整理 (5)	8 本時の振り返りをノートに書く。 ・表から変わり方のきまりを見つけると、問題を簡単に解くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 表を使って問題を解くことの便利さや良さについて書いている児童を、意図的指名する。

5 評価

- (1) 表にかいて調べ、変わり方のきまりを考えたり説明したりすることができたか。
 (活動4, 5, 6の様子から)
- (2) 表の良さを実感し、変わり方のきまりを考えることができたか。(活動4, 5, 6, 7の様子から)